

一般社団法人ケアの方舟 訪問カレッジ「Be Prau」 (所在地：埼玉県さいたま市)

事業名 「“訪問型インクルーシブ”生涯学習モデル ～『超重症児者の学び』から地域をエンパワメントするネットワーク構築～」

事業の趣旨・目的

超重症児者に分類される方々は最も厚い支援が必要でありながら「既存の社会教育施設やそこで行われているプログラムの拡大」からのアプローチでは生涯学習に辿り着けない。「外出困難×意思疎通の難しさ」という問題から社会やコミュニティにインクルージョンされにくい方たちの「訪問型学習支援」に多様な方々が関わることでその方のご自宅を「開かれた小さな社会」としてそこに集う全ての人の生涯学習の場＝“訪問型インクルーシブ”生涯学習モデルとする。そこに生まれた「ゆるやかであたたかなつながり」が地域をエンパワメントし共生社会の足がかりとする。

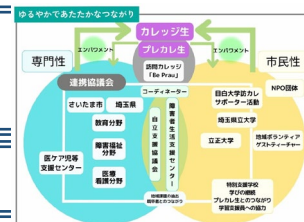
事業実施体制・連携先

be.prau.231013@gmail.com 目白大学地域連携事業

主な対象 超重症児者
(重度知的・重度身体障害＋医療的ケア)

活動分野

学習(訪問型生涯学習支援)



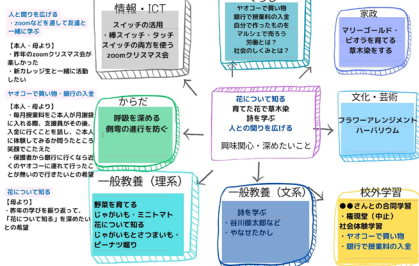
事業の取組内容

Mission①
主体を大切にしたい学び支援
出会いの場づくり

個の実践

関係性構築と主体の立ち上がりを学びの土台に

【2025年度上半期さん学びMAP】



「学びマップ」を活用して、個別、訪問型の学び・支援のプロセス・対等な主体同士の関係性を可視化して、専門職に閉じないつながりを広げます。



個別の学びで得た気づきが社会の構造を動かし、構造が変わることで個別の実践の継続性と選択肢が広がる

社会への調整(構造への働きかけ)

個別の実践から見えてくる社会的な課題を整理し社会の前提(価値観・関係性・しくみ)にある障壁を可視化、調整を促し共生社会の実現を目指します。

- * 意思疎通が難しいとされる人のコミュニケーションを問い直す講座「スイッチ講座＆ゲーム大会」
- * 支援者の視点を編み直す研修「学びマップを使ってみよう」埼玉県医療的ケア児等支援センター共催
- * 超重症児者のニーズから社会構造を可視化する講義(人間総合科学大学・立正大学)・全国訪問教育研究会全国大会講演・さいたま市岩槻区はたらく部会ワーク付き講義

Mission ②
一人の声を起点に社会構造を問い直し、共生へ踏み出す

活動の様子



その他



SNS
メール



2025年度実践動画
「リベラルアーツ～主体が立ち上がる学び～」



2025年度実践動画
「学びの場づくりから地域の編み直しへ」